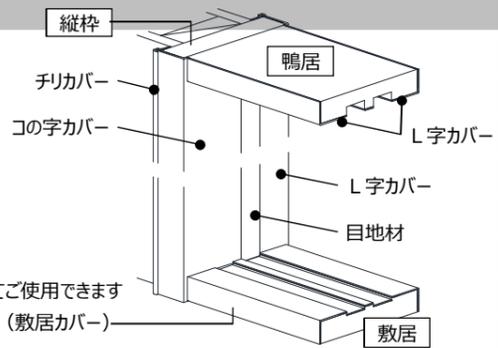


■ 設計・施工時の注意

- 本製品がカバーできる既存の引戸枠は、**木製枠・シート貼り枠**です。それ以外の材質の枠には使用できません。
- 本製品は、**縦枠・鴨居専用**です。それ以外の箇所には使用できません。
- 本製品は、既存の引戸枠に固定する「**接着・両面テープ**」施工となります。接着剤や両面テープは必ず指定品をご使用ください。
- **既存の引戸枠がシート貼りの場合は、まず、シートに切り込みを入れて基材とシートが密着しているか確かめてください。**
次に、シートにはがれやよじれ（しわ）があったり、塗装はがれがある場合はその部分を除去してください。
また、ささくれ、汚れ、油分、ほこり等がある場合は除去してください。接着不良や施工後の製品ズレの原因となります。
- カッターを使用する際は、刃が通る位置に手を置かないでください。カッターが滑り手にけがをする恐れがあります。
- カット後の端面は、サンドペーパー等でバリを取ってください。端面で手にけがをするおそれがあります。
- 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。



■ 使用部材

○ L字カバー、コの字カバー、チリカバー、目地材（下表のセット内容・部材・数量をご確認ください）

※ケーシング枠の場合は別途、下記が必要です。

呼称	L字カバー	コの字カバー	チリカバー	目地材	L字カバー
引戸枠カバー 引違い用	5本	2本	4本	2本	6本
引戸枠カバー 片引き用	3本	4本	4本	1本	6本

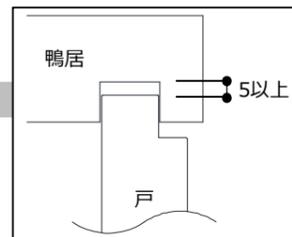
■ 必要工具・部材 ※接着剤・両面テープ・コーキング材は指定品をご使用ください。それ以外は現地調達ください。

【工具】 巻尺、さしがね、丸ノコ、のこぎり、カッター、サンドペーパー（番手#180）、シーリングガン（接着剤塗布用）

【部材】 接着剤（※引戸枠カバー1セットに必要な接着剤＝2本）、両面テープ（巾5mm）、コーキング材、マスキングテープ

■ 施工前の確認

- ① 鴨居と戸の間に、右図のような5mm以上の隙間があるかどうか確認する。
→5mm以上の隙間が無い場合は、最後に **6.戸の高さ調整**-② が必要になることがあります。
- ② 戸を外す。



■ 施工手順（この手順や図は、引違い戸の場合を表していますが、片引き戸の場合も同じ要領です。詳細は「参考納まり図」をご確認ください。）

1. 既存引戸枠（縦枠・鴨居）の表面を確認する

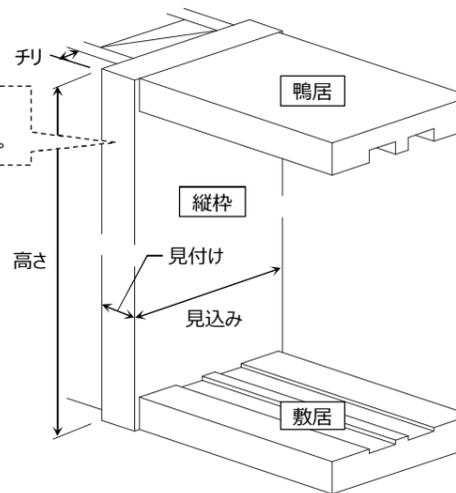
○ シート貼り枠の場合は、白い粉が出るまでサンドペーパー（番手#180）で表面を荒らす。

注意 荒らさないと接着不良の原因となります。（シート貼り以外の枠の場合は荒らす必要はありません）

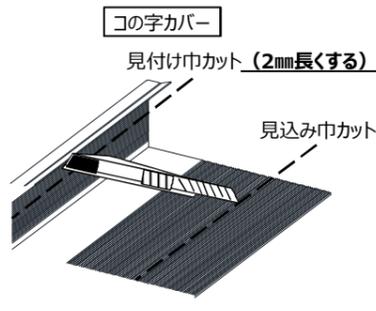
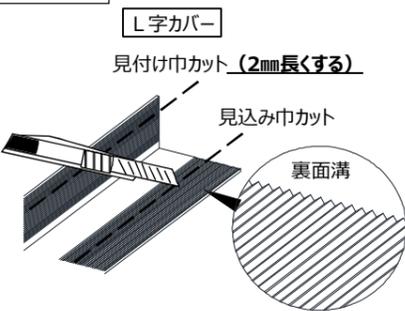
2. 縦枠への『L字カバー』『コの字カバー』貼り付け

- ① 縦枠の高さに合わせてのこぎりでカットする。
- ② 見込み巾に合わせてカッターでカットする。
ポイント 敷居溝中の中央付近に、L字カバーとコの字カバーの継ぎ目がくるようにカットする。
ポイント 継ぎ目の位置は戸を閉めた時に隠れるようにする。
※裏面の1mmピッチの凹凸に沿って、切れ目を3～4回入れてカットする。
※カット後に残った端材は、**4.鴨居への『L字カバー』『端材』貼り付け** で使用するので保管しておく。
- ③ **ポイント** 見付け巾より**2mm長くなるように**、カッターでカットする。
- ④ 鴨居・敷居の寸法に合わせて、上下を切り欠く。
- ⑤ 裏面に両面テープをしっかりと圧着して貼り、離れ紙をはがす。
- ⑥ 裏面に接着剤を塗布する。（ビード塗布径Φ4）※約5～10分で硬化し始めます。
- ⑦ 縦枠に圧着して貼り付ける。

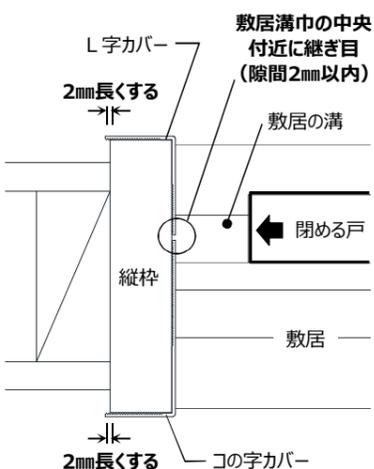
シート貼り枠の場合は、事前にサンドペーパー（番手#180）で荒らすこと。



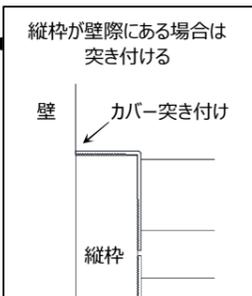
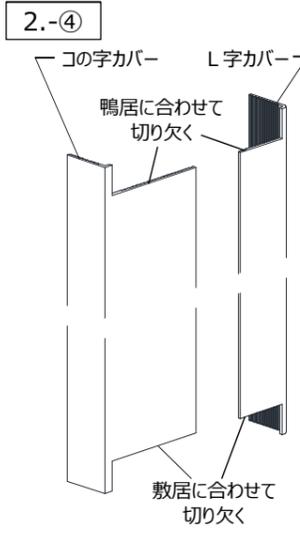
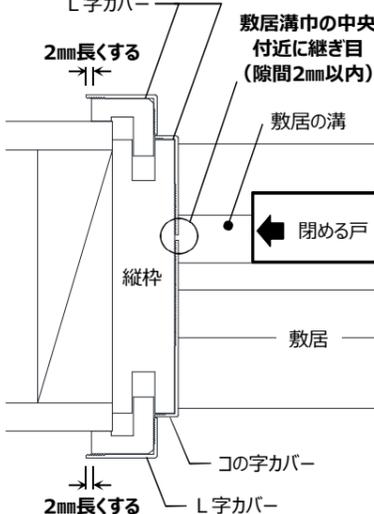
2.-②③



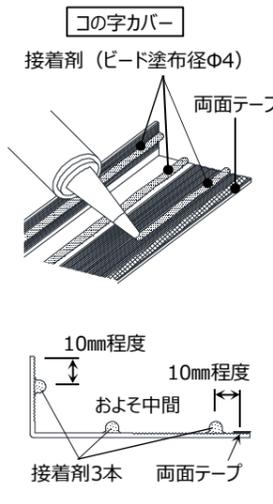
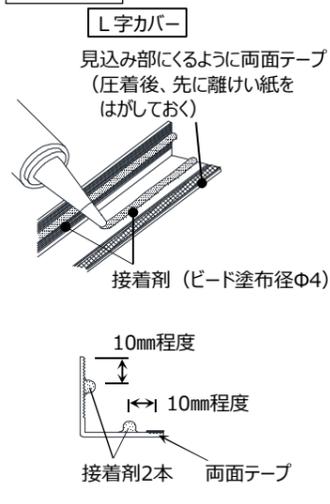
無目枠の場合



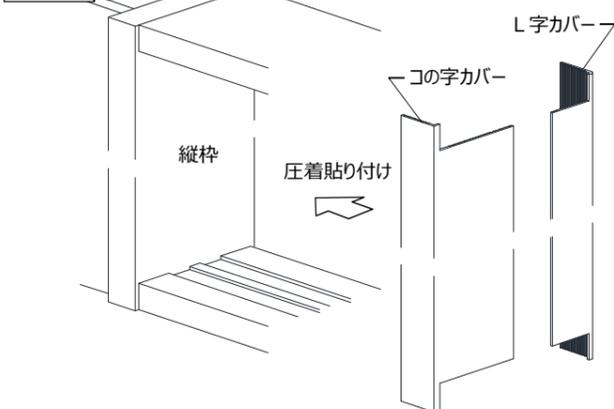
ケーシング枠の場合



2.-⑤⑥

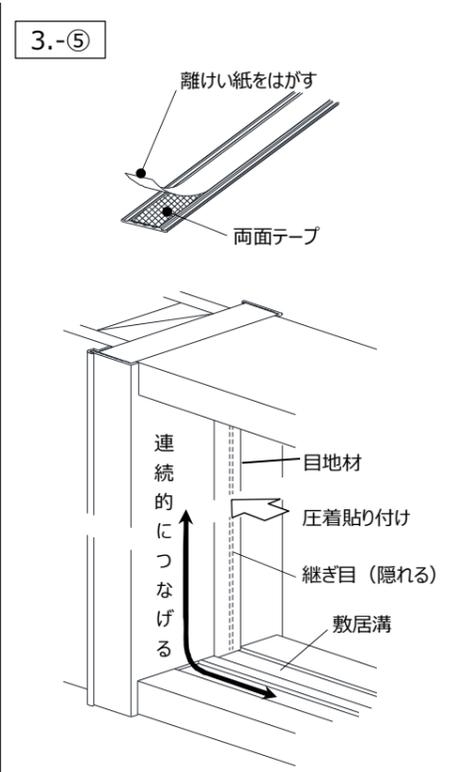
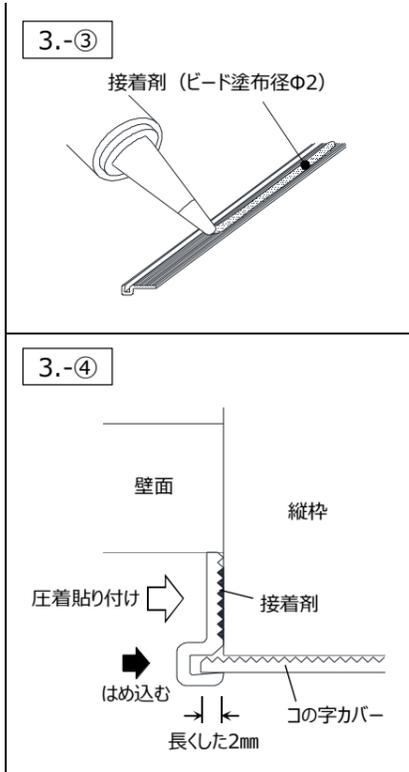
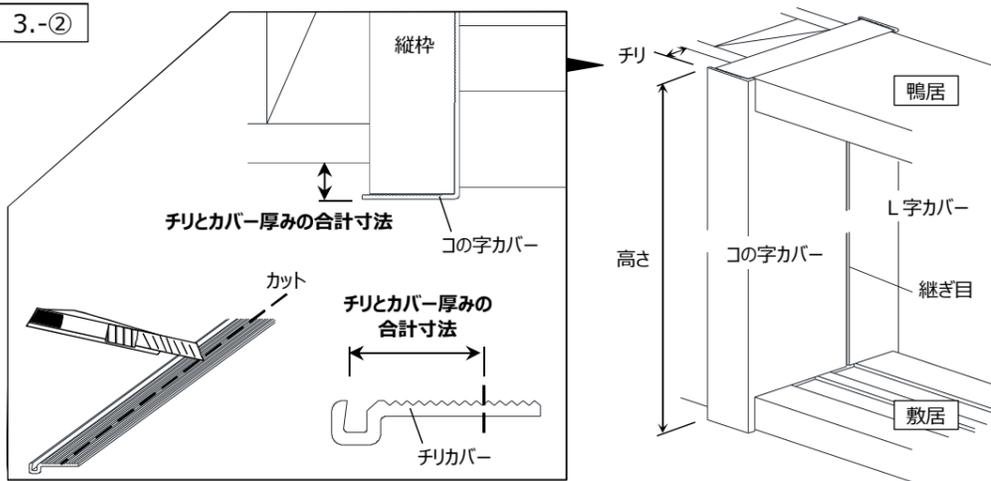


2.-⑦



3. 縦枠への『チリカバー』『目地材』貼り付け

- 縦枠の高さに合わせて、チリカバーをのこぎりでカットする。
- チリとL字カバー（あるいはコの字カバー）厚みの合計寸法**になるように、チリカバーをカッターでカットする。
※裏面の1mmピッチの凹凸に沿って、切れ目を3~4回入れてカットする。
- 裏面に接着剤を塗布する。（ビード塗布径φ2）※約5~10分で硬化し始めます。
- L字カバー（あるいはコの字カバー）には**はめ込みながら**、チリ部に圧着して貼り付ける。
- 目地材の離れ紙をはがし、L字カバーとコの字カバーの継ぎ目を隠すように圧着して貼り付ける
※**敷居溝と目地材が連続的につながるよう**、貼る位置を調整しながら貼る。



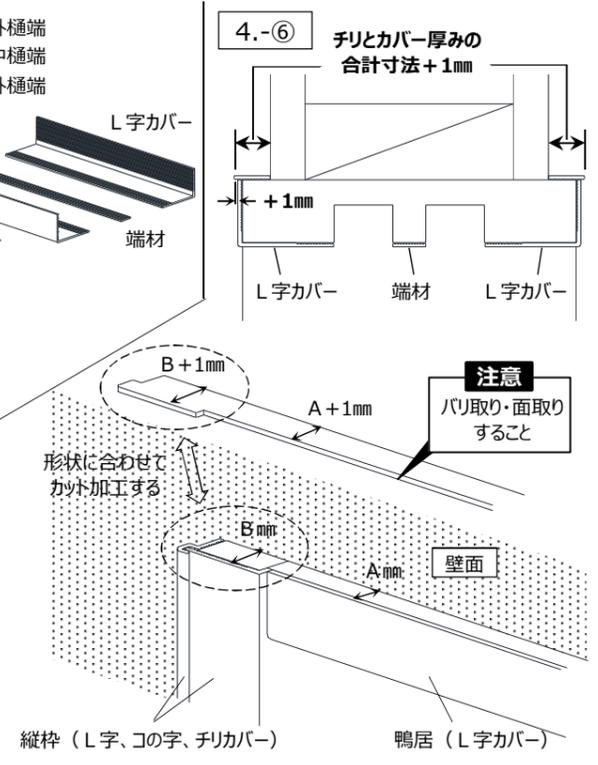
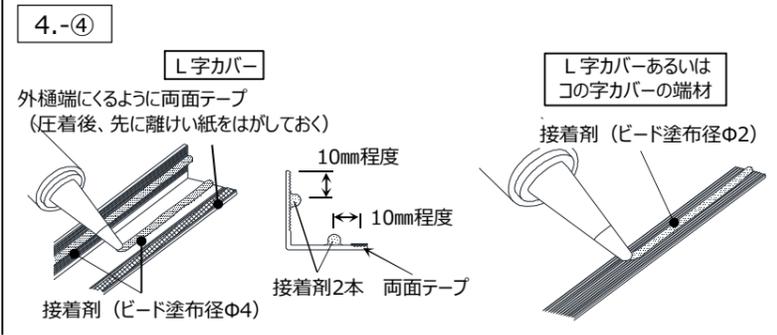
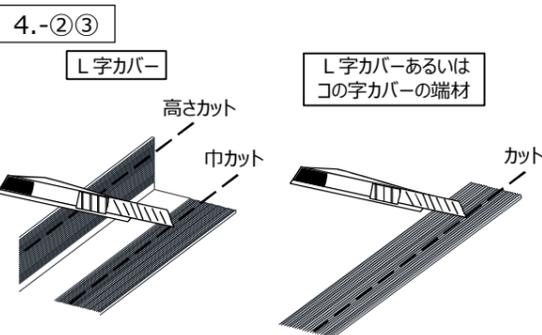
4. 鴨居への『L字カバー』『端材』貼り付け

- のこぎりで必要長さにカットする。
 - 外樋端（そとひばた）の高さ・巾に合わせて、L字カバーをカッターでカットする。
 - 2.でカットした後の端材を、中樋端（なかひばた）の巾に合わせてカッターでカットする。
※裏面の1mmピッチの凹凸に沿って、切れ目を3~4回入れてカットする。
- 注意** カット後の端面は、サンドペーパー等でバリ取り・面取りを行なう。
- 裏面に接着剤を塗布する。（ビード塗布径φ4、φ2）※約5~10分で硬化し始めます。
 - 鴨居に圧着して貼り付ける。
 - 2.でカットした後の端材を、**チリとL字カバー厚みの合計寸法+1mm**になるように、カッターでカットする。

ポイント 縦枠のカバー材（L字、コの字、チリカバー）との取り合いは、右図のように加工する。

注意 カット後の端面は、サンドペーパー等でバリ取り・面取りを行なう。

- 裏面に接着剤を塗布し（ビード塗布径φ2）、チリ部に圧着して貼り付ける。

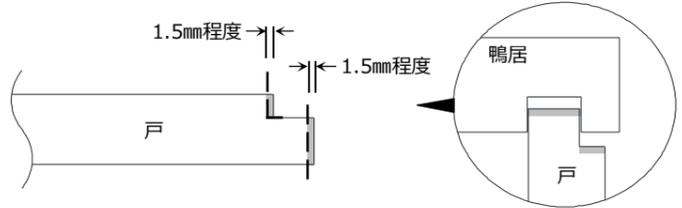


5. コーキング処理

- カバー材どうしの取り合い部 などの隙間が目立つ場合は、コーキング処理する。

6. 戸の高さ調整

- 戸が入るかどうか、入れた戸がスムーズに動くかどうか、を確認する。
- 入らなかつたりスムーズに動かない場合は、戸の高さを調整する。
→丸ノコで、戸の上部を1.5mm程度切り落とす。



● 参考納まり図

